

強い自民党、成長する日本をつくる。

私は、国の究極の使命は「国民の皆様の生命と財産」「領土・領海・領空・資源」「国家の

「総合的な国力」を強化する

「強い自民党」です。私が先頭に立ちます。一緒に、自民党を、どこまでも強くしましょう！

長い歴史をもつ「国民政党」として、全国各地で国民の皆様の切実なお声を受け止め、国や地方の政治の場で必ず果実を生み出せるように、私は猛烈に働き続けます。

党員、党友の皆様におかれましては、苦難の時にも自民党の諸活動を懸命に支え続けていただき、深く感謝申し上げます。

党総裁に選出されましたら、私が取り組むべき最初の課題は、国民の皆様から信頼していただける生まれ変わった自民党、経緯を重んじる自民党、国でも地方でも選挙に勝ち続ける強い自民党をつくることです。



たか いち さ なえ

主権と名誉を守り抜くことだと考えます。その使命を果たすために、「総合的な国力」を強化します。それは、「外交力」「防衛力」「経済力」「技術力」「情報力」「人材力」です。

すべてを強くするためには、何よりも経済成長が必須です。

経済成長を、あくまでも追い求めます。経済を伸ばすのは、私達一人ひとりです。そして、人を前進させるものは、希望です。

初めて投票する18歳の若者は、22世紀まで生きることができるよう方々です。彼らに、日本の未来を信じてほしい。希望を抱いてほしい。私の政策は、その一点を出発点とし、帰着点とします。

内閣総理大臣は、自衛隊の最高指揮官です。迅速かつ的確な判断をもって重責を果たします。国防に任ずる自衛隊員の誇りを守り、実力組織として揺るぎなく位置付けるため、日本国憲法を改正します。

経済成長を確かなものとし、総合的な国力を強化するためには、大胆かつ息の長い取組が必要です。ぶれない総理、責任をとる官邸、そして政権の安定が必要です。強い自民党をつくることは、結果を出せる政権をつくる第一歩。だから、大切なのです。

「私達が生きている今。それは、誰かが命懸けで守ろうとした未来だった」。その未来を生き、今の時代をお預かりしている私達には、「日本列島を、強く豊かに」して、次世代に贈る責任があります。

高市早苗

略歴

- ★1961年3月7日生まれ
- ★奈良県立畝傍高校卒業
- ★神戸大学経営学部卒業(経営数学専攻)
- ★(財)松下政経塾卒業
- ★米国連邦議会 Congressional Fellow
- ★近畿大学経済学部教授(産業政策論・中小企業論)

衆議院主要役職歴

- 文部科学委員長
- 憲法調査会小委員長
- 議院運営委員長

自民党主要役職歴

- 日本経済再生本部長
- サイバーセキュリティ対策本部長(3期)
- 社会機能移転分散型国づくり推進本部長
- 経済安全保障対策本部長
- 政務調査会長(3期)

内閣役職歴

- 通商産業政務次官
- 経済産業副大臣(3回任命)
- 内閣府特命担当大臣(5回任命)
- 総務大臣(5回任命)
- 経済安全保障担当大臣(2回任命)

《高市早苗の主張と実績の詳細》



高市早苗公式
サイト・SNSは
こちらから

<https://www.sanae.gr.jp>

日本列島を、強く豊かに。

1. 大胆な「危機管理投資」と「成長投資」で、「安全・安心」の確保と「強い経済」を実現。

様々なリスクを最小化し、先端技術を開花させるための「戦略的な財政出動」は、私達の「安全・安心」を確保するとともに、雇用と所得を増やし、消費マインドを改善し、「強い経済」を実現する取組です。その恩恵は、未来の納税者にも及びます。

- 食料安全保障の確立
全ての田畑をフル活用できる環境作りと成長産業化を急ぎ、植物工場や陸上養殖施設の初期投資に対する支援を強化します。
- エネルギー・資源安全保障の強化
特別高圧・高圧の電力を安定的に安価に供給できる対策を講じ、日本の産業を守ります。「次世代革新炉」と「核融合炉」の早期実装、冷媒適用技術や光電融合技術など「省エネ技術」を支援します。地政学リスクに備え、「国産資源開発」にも積極的な投資を行います。
- 「現在と未来の生命」を守る令和の国土強靱化対策
現行対策は令和7年度までです。防災科学の知見も活用し、気候リスク管理も含めた後継計画を策定します。「社会全体の迅速な復旧方針」も立案し、二次災害回避の可能性を高めます。
- サイバーセキュリティ対策の強化
「能動的サイバー防御」を可能にする法整備を急ぎ、「復旧方針」も策定します。高度なサイバー攻撃に対応できる技術開発・人材育成を加速し、偽情報から私達を守るための法整備と偽情報を検知・分析・評価する技術開発を促進します。
- 健康医療安全保障の構築
ワクチンや医薬品については、原材料・生産ノウハウ・人材を国内で完結できる体制を構築します。「再生・細胞医療、遺伝子治療分野」「革新的がん医療」「認知症治療」に係る研究開発を促進します。「国民皆歯科健診」の完全実施、「予防医療」や「未病」の取組を推進します。CBRNEテロ(化学・生物・核・放射線兵器や爆発物を用いたテロ)への対策を検討する専門家組織を創設します。
- 成長投資と人材力の強化
日本に強みがある多くの技術の社会実装とともに、勝ち筋となる産業分野につき、国際競争力強化と人材育成に資する戦略的支援を行います。

2. 地方には、大きな「伸び代」がある。

全国どこに住んでいても、安全に生活することができ、必要な医療・福祉や高度な教育を受けることができ、働く場所がある。一私が目指す日本の姿です。地方の大きな「伸び代」を活かし、日本列島の隅々まで活発な経済活動が行き渡る国を創ります。

3. 「全世代の安心感」を、日本の活力に。

シニア世代が幸せで輝いて見えることは、若い世代の将来への安心感に直結し、消費マインドの改善にもつながります。「経済的事情によって進学を諦めない」「結婚や出産・子育ての希望を諦めない」「介護離職等でキャリアを諦めない」「更年期や高齢期特有の不調、障害や難病によって社会活動を諦めない」で済む環境と、在職老齢年金制度の見直し等「働く意欲を阻害しない」「努力をした人が報われる」制度を整備します。

4. 「防衛力」と「外交力」の強化で、日本を守る。

新たな戦争の態様(宇宙・サイバー・電磁波領域、無人機、極超音速兵器、自律型AI兵器)にも対応できる国防体制を構築します。「自由で開かれたインド太平洋」に米国を強く関与させ続けることは、日本の責任です。主体的な外交で、同盟国や同志国との絆を更に強くします。

5. 「令和の省庁再編」に挑戦する。

厳しい環境変化の中で生じる複雑な課題を、広い視野でスピード感をもって解決していくために、議論を尽くした上で、政治がリーダーシップを発揮するべき案件です。

- インテリジェンス関係省庁の司令塔としての「内閣情報局」、懸念国からの投資を精査する「対日外国投資委員会」、能動的サイバー防御やセキュリティ対策に一元的な責任と権限を担う機関を設置。
- 『復興庁設置法』を改正し、東北以外の復興にも携われる組織に強化。
- 「情報通信省」や「環境エネルギー省」への改編。

6. 今を生きる日本人と次世代への責任を果たす。

- 技術革新、安全保障環境や社会生活の変化など、時代の要請に応えられる「日本人の手による新しい日本国憲法」を制定します。
- 天皇陛下の「権威と正統性」の源である126代続いた男系の「皇統」をお守り申上げるため、「皇室典範」を改正します。
- 公務死された方々に、尊崇の念をもって感謝の誠を捧げ続けます。

7. 信頼される自民党、強い自民党へ。

- お金の入りと流れから属性性を徹底的に排し、会計・財務の専門家等の協力を得て、使途の公平性と公正性を担保できる仕組みにします。
- 自民党は、専門人材の宝庫です。「適材適所の人事システム」を早期に整備します。「世代間対立」ではなく、「全世代総力結集」の強みを、「全世代の安心感」を創るための政策構築に活かします。